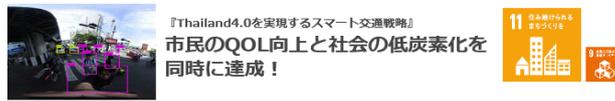


林 良嗣

(中部大学卓越教授／持続発展・スマートシティ国際研究センター長)

所在地	〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地
電話	0568-51-9400
ファックス	なし
メール	y-hayashi@isc.chubu.ac.jp
ホームページ	https://thailand40.prsvr.net/



研究代表者名 (所属機関)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>林 良嗣 (中部大学 持続発展・スマートシティ国際研究センター センター長・教授)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>タナルック ティラムコン (タマサート大学 知識情報学・サービス革新研究センター所長 (教授))</p> </div> </div>
国内研究機関	中部大学、東京大学、大阪大学、香川大学、名城大学、大日本コンサルタント (株)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング (株)
相手国研究機関	タマサート大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、NECTEC、アジア工科大学
採択年度	平成29年度 (2017年度)
研究期間 (採択時)	5年間
相手国	タイ王国
研究課題の概要	<p>「スマート交通戦略」をベースとしたリーフログ型成長の実現 国家理念Thailand4.0のコンセプトのもと、タイ国は今後20年をかけて優位を創り出す経済への転換を目指す。しかし、メガシティ・バンコクの交通渋滞は市民から多大な時間を奪い、温暖化、環境、健康に対するリスクを助長させる。そこで、市民のQOL向上と社会の低炭素化を同時に達成する、サイバー技術が支える「スマート交通戦略」による成長を構想し、バンコク唯一の目標通りにSukhumvit Modelとして実装する。</p> <p>「Sukhumvit Model」によりThailand4.0とSDGsに貢献 Sukhumvit Modelは、人のための経済発展 (Thailand4.0) と誰一人取り残されない-No one left behind (SDGs)を目指す都市実験である。道路が鉄道かの二者択一のインフラからの従来の発想ではなく、若者、高齢者など多様な属性をもつ市民のニーズから発想する交通政策へ転換する。そのため、AIを駆使して徒歩～パーソナルモビリティ～鉄道など時刻・手段・ルートをシームレスな交通移動の組み合わせが選べるシステムを開発し、豊かなライフスタイルを実現する。</p>
研究実施風景	 <p>360°カメラ画像から一箇物体認識を試みる</p>   <p>ラッシュ時のアソック交差点は、車番号によって直角方向の車列がブロックして動けない。バンコク市内を走るトゥクトゥク (三輪タクシー)</p>
研究プロジェクトWEBサイト	-
プレスリリース	-
実施報告書	<p>📄 平成29年度 (450KB)</p> <p>📄 平成30年度 (450KB)</p> <p>📄 令和元年度 (3,532KB)</p>
評価報告書	-
関連URL	<p>JICA ODA見える化サイト</p> <p>SDGsリーフログ・タイバンコク編 情報技術で渋滞解消！快適な移動を実現するには</p>